

科目	調査方法論	単位数	2
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	心理科学科 3 年秋学期		
概要と目的	質問項目を作成し、項目分析を行うことにより尺度構成の過程を体得することと、人格検査やSD法を実施し、データの解析の実習を行う中で調査の実施に触れることを目的とする。		
達成目標	「知識・技能」 (1) 得られたデータを集約し分析する方法について理解し、実践できる (2) データ分析の方法を理解し、実践できる 「思考力・判断力・表現力」 (1) 得られたデータを集約することができる。 (2) 統計解析した結果を解釈することができる。 「主体性・多様性・協働性」 (1) 実験と調査から仲間と協力しデータを収集する。 (2) 仲間と相談しデータ分析をする。		
授業計画			
1	オリエンテーション、SPSS の基本操作 1 / 分析データの確認、SPSS の起動と終了		
2	質問紙法の基礎 1 / 尺度作成の概要説明、尺度項目の案出		
3	質問紙法の基礎 2 / データの収集と入力		
4	質問紙法の基礎 3 / 項目分析 1 (尺度得点の算出 (記述統計) と G P 分析 (t 検定))		
5	質問紙法の基礎 4 / 項目分析 2 (IT 相関 (相関係数))		
6	質問紙法の基礎 5 / レポート作成		
7	質問紙法 (人格検査) 1 / 質問紙調査の概要説明、調査用紙の作成		
8	質問紙法 (人格検査) 2 / データの収集と入力		
9	質問紙法 (人格検査) 3 / データの集約と解析 (記述統計、相関係数、t 検定)		
10	質問紙法 (人格検査) 4 / データの解析 (回帰分析、因子分析)		
11	質問紙法 (人格検査) 5 / レポートの作成		
12	SD 法 1 / SD 法の概要説明、調査用紙の作成		
13	SD 法 2 / データの収集と入力		
14	SD 法 3 / データの解析 (記述統計、分散分析)		
15	SD 法 4 / レポート作成		
授業形態 / 具体的な内容	実習もしくは実技 / 実験、実習、実技		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
特に使用しない			
参考書			
成績評価の基準・方法	基準 調査の方法論とデータの整理・分析を理解し、レポートとしてまとめることができれば合格 方法 授業での学習意欲 40%、課題提出状況とレポート内容 60%		
留意点	課題の提出を頻繁に求めます。		
準備学習	心理統計学の学習を終えている、あるいは本年度履修していることが望ましい。 Excel の操作になれていること。		
備考	各回の課題については次週フィードバックする。		No. PY523001